

日本地球電気磁気学会会報（第96号）

1982年10月20日

日本地球電気磁気学会
〒113 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル
(財)日本学会事務センター内
電話 03-815-1903

I. 第72回総会ならびに講演会

第72回総会ならびに講演会は、10月2日～10月4日の三日間、秋田大学のお世話により、秋田大学教育学部6号館で開催された。総会は10月3日、北村会員を議長として下記の次第で開かれた。

- (1) 開会の辞
- (2) 議長指名
- (3) 大会委員長あいさつ（乗富大会委員長）
- (4) 運営委員会報告（鶴田運営委員，Ⅱ項参照）
- (5) 議事

(イ) 会費値上げについて

本倉委員より学会の財政事情の説明がなされ、会費値上げの提案がなされた。審議の結果賛成多数で議決された。この議決に伴い会則の一部変更（第Ⅲ項参照）が認められた。

(ロ) 次期（第73回）総会、講演会開催地確認

前総会で提案されたとおり、第73回総会及び講演会開催地を電気通信大学とすることが確認された。

(ハ) 次々期（第74回）総会、講演会開催地の提案

鶴田会員より、第74回総会及び講演会を名古屋大学空電研究所にお願いしたい旨の発言があり、名大空電研究所を代表して鎌田会員よりひき受ける旨の発言があった。

(ニ) その他

水野会員より、気象庁柿岡地磁気観測所が直面している問題、即ち、常盤線直流電化問題及び周辺の地域開発に伴う雑音の増大について発言があった。続いて河井柿岡地磁気観測所長より詳しい説明がなされ、討論のすえ、学会としてもこの問題を検討することとした。

- (d) 会長あいさつ
- (e) 謝 辞 (福島評議員)
- (f) 閉会の辞

II. 運営委員会報告

第121回、及び第122回運営委員会が8月6日及び10月1日に開催された。両運営委員会の議事をまとめて報告する。

(1) 新入会員

第121、及び122回運営委員会で入会が承認された会員は以下の17名である。

正会員 (*印は学生会員)

佐藤	亨	(京大工)
角村	悟	(気象庁)
徳本	哲男	(地磁気観測所)
三品	正明	(東北大理)
関口	宏之	(立大理)
時沢	秀幸	(ファコム)
中西	浩*	(大阪市大)
牧野	雅彦*	(京大)
野坂	徹*	(名大)
永井	智広*	(東北大)
石田	十郎*	(東大理)
中村	正人*	(宇宙研)

賛助会員

日産自動車株式会社
松下通信工業株式会社
松栄電子株式会社
エコー計測器株式会社
明星電気株式会社守谷工場

10月20日現在 正会員 591名(内国内在住539名) 賛助会員5社である。

(2) JGG出版社変更

第120回運営委員会決定に基づき、JGGの出版社を学会誌刊行センターから(株)テラ学術図書出版へ移すための手続きが行われている。具体的には当学会とテラ学術図書出版の間でJGG出版に関する契約書が取り交された。JGGの海外での販売は、オランダのD.Reidel社が

行う予定であり、海外販売についての同意書がテラ学術図書出版とD.Reidel 社の間で近く取り交される予定である。

出版社変更に伴いJGG発行に遅れが生じているが、10月中旬にVol.34 No.4が、11月中にNo.5及びNo.6が会員の手元に届く予定である。No.7及びNo.8は印刷中であり年度内にVol.34の遅れは取り戻せる予定である。

また出版社変更、海外販売ルートの変更に伴い、表紙の出版社欄が下記のように変更になります。

Vol.34 No.4～No.12については

Edited by The Society of Terrestrial Magnetism and Electricity of Japan, Published by Terra Scientific Publishing Company.

Vol.35以降については

Edited by The Society of Terrestrial Magnetism and Electricity of Japan, Published by Terra Scientific Publishing Company / Tokyo · D.Reidel Publishing Company / Dordrecht, Boston, London.

現在原稿は比較的良く集っているが、今後海外購読者数の増加も期待されるので一層多くの投稿を望みます。

投 稿 先

〒150

東京都渋谷区桜丘町4丁目17

渋谷台ハイム 307号室

株式会社 テラ学術図書出版 気付

JGG 編集委員長 力武 常次 あて

(3) 会費値上げについて

前回の値上げ(昭和54年)以来4年を経過し、諸経費の高騰のため学会財政が大変苦しくなっており、名簿発行等が出来ないばかりか、このままだと赤字財政となることは目に見えているので会費値上げを総会に提出する。新会費は、正会員年額8,000円、正会員中学生の身分にあるもの年額5,000円とするよう提案する。

(4) 役員選挙

今期役員の任期満了に伴う役員の改選を行う。選挙方法は従来通りとし選挙用紙発送は10月20日、投票切は11月10日とする。

III. 会費改定に伴う規約改正

会費の改定が総会で認められましたので本会規約第二章第7条の1が以下のように改定されます。

1. 正会員は年額8,000円、但し正会員中、学生の身分のあるもので所定の手続きを経たものは年額5,000円とする。

海外在住の正会員については明確な規定がありませんので漸定的な措置として年額40USドルとする。

IV. 役員選挙

11月10日は次期役員(会長, 評議員, 運営委員)の投票日です。従来選挙では投票率があまり高くありません。全員が投票されることを希望します。同封の選挙用紙を使ってすぐ投票下さるようお願いいたします。

V. 南極ロケット観測

国立極地研究所では第25次南極観測において、昭和基地でのロケット観測を計画しております。ついでには、観測計画、特に搭載機器に関してご希望がある方は下記に詳細を問い合わせ下さい。

〒173 東京都板橋区加賀1-9-10

国立極地研究所 平沢 威 男

Tel. 03-962-1111

VI. その他

第72回講演会予稿集が余っております。御入用の会員には会員価格で差し上げます。会員であることを明記して、下記あてハガキで申し込み下さい。会員と明記されていない場合一般市価となりますので御注意下さい。

申し込み先

日本学会事務センター内

日本地球電磁気学会